



## 子どものたちの思いを学習に

校長 小田 和宏

いよいよ今年も最後の月を迎えます。このお便りの発行日は、ちょうど6年生が日光修学旅行に行っています。新型コロナウイルス感染症の状況により昨年度は日帰りの校外学習へ変更しました。今年度は、延期こそしましたが実施できる状況を素直にうれしく思います。

実施時期の変更に伴って、戦場ヶ原のハイキングは積雪による立ち入り制限が予想されたため、足尾銅山の見学に変更をしました。子どもたちは、その変更も前向きにとらえ、事前に歴史や施設について調べ、学習に生かそうとする姿が見られました。

学校行事や学習での活動を通して、子どもたちは、「やってみたい」「実現したい」「できるようになりたい」「伝えたい」など、それぞれの思いをもちます。その思いが学習活動を推し進めたり、豊かなものにしたり、力を高めていく原動力になったりします。

11月の授業参観では、1年生が「あきと いっしょに」の発表を行いました。生活科の学習で「秋の自然の様子に関心をもつとともに、季節の遊びに対する興味を高める。」というねらいの学習です。学習を進めるにあたって、秋を見つけに高田天満宮に行き、どんぐり拾いをしました。秋見つけの活動で、地域とのつながりが生まれました。

子どもたちは、どんぐりを使っていろいろな遊びを体験し、それが「おうちの人にも伝えたい」という思いにつながりました。準備を進める中で、「来てもらった人に楽しんでもらうためには」と考え、分かりやすく遊び方を説明する必要性が学習を深めていきました。

4・5組の子どもたちは、「高田東小のプレイパークをつくろう」というダイナミックな学習活動に取り組みました。鯛ヶ崎公園での体験からでた「身近にプレイパークの遊びがしたい」という思いが、学習のスタートになっています。

プレイパークをつくるために、わからないことを鯛ヶ崎公園プレイパークの方や技術員さんに聞いたり、どうやって調べたらよいかを学校司書の先生に聞いたりしていきました。また、安全であることも重要な要素であることに気づき、養護教諭の先生に訊くことも課題解決に向かう学習でした。

2022年度より、高等学校で「総合的な学習の時間」の名称が「総合的な探究の時間」に代わります。これは、小・中学校における総合的な学習の時間の取組が基盤となります。総合的な学習の時間で重視している「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現」という探究のプロセスを意識した学習活動は、子どもたちの「やってみたい」「できるようになりたい」という気持が支えとなります。そして、その思いが実現されたり、学習活動に反映されたりすることで、「主体的な学び」になっていくのだと感じています。子どもたちの「探究的な学び」の姿がたくさん見られるように、その思いを大切にしていきたいと思えます。

## 4年 芸術文化教育プラットフォーム

毎年4年生が取り組んでいる「横浜市芸術プラットフォーム事業」ですが、今年度は日本の伝統芸能に触れる活動を選びました。

望月太左衛様が奏でる鼓と、その気迫のこもった掛け声に圧倒されてのスタート！朱色のひもを握ったり緩めたりしながら音色を変えることを教えていただき、感心しきりの子供たちです。やがて、運動会でいつも応援団が叩く大太鼓が登場しました。

見たことのない長めの細いばちで、いろいろな叩き方を実演され、その意味をたくさん教えてくださいました。お芝居のときのお約束としての開幕や終幕のリズム、川と海の違い



雨や雪が降る様子を表す音色の違いなど、実に様々な表し方があることを知りました。

お囃子は太鼓と鉦、締め太鼓でリズムをうち音階楽器は登場しません。次の授業では、それぞれの楽器と唄の練習をします。

今から、次の授業を楽しみにしている子どもたちが、3回の授業を経てどのような演奏を発表してくれるか、乞うご期待！！

## 運動委員会 的あてチャレンジ

11月から芝生の養生期間に入りました。運動委員会では、この間少しでも体を動かす機会を増やし、健康・体力向上の意識を高めるきっかけになればと「的あてチャレンジ」を企画し、クラスごとに実施しています。

運動委員会で何度も話し合い、遊び方やルールを学年ごとに工夫して、「ストラックアウト」「キックターゲット」「フリスビーIN」のコーナーを用意しました。参加した子ども達からは、「たくさんの的に当てることができた」「30点取ったよ」「もっとやりたい」という声が聞こえてきて、とても楽しそうでした。



## 4・5組 高田東プレイパークをつくろう



4・5組では生活・総合の学習で学校の中に鯛ヶ崎公園にあるようなプレイパークを作る活動をしました。失敗や課題をグループごとに話し合っ乗り越え立派なプレイパークを作ることができました。プレイパークには先生方やお家の人を招待して遊んでもらいました。アドバイスとともに良かったところをたくさん教えてもらい楽しみながら自信のつく活動をすることができました。



この学習では、お客さんをお迎えするためにていねい語（敬語）の学習をしたり、実際に鯛ヶ崎公園プレイパークの方にインタビューをしたりしました。今後は学校の友達を招待する予定です。

## 2年 マリノス食育キャラバン&まちたんけん



横浜・F・マリノスのサッカーコーチの方から、サッカーボールと仲良くなる方法を教えてもらいました。ゲームを通してドリブルの仕方を楽しく学びました。また、好き嫌いせず、食べることの大切さも知りました。

生活科の町探検では、公園を中心に探検をしました。全部で5つの公園を見て、比較したり、同じところを探したりして、自分達の住んでいる町について詳しく学習しました。